

第三者評価結果概要版（通所介護【デイサービス】）



○基本情報

法人名	社会福祉法人正吉福祉会
事業所名	デイサービスセンターきたざわ苑
所在地	世田谷区北沢5丁目24番18号
連絡先	03-5453-5620

○事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）

- 1) 地域に根ざした福祉社会の新たな進展と福祉文化の創出に積極的な役割を果たします。
- 2) 地域福祉の街づくりに寄与します。
- 3) 利用者のQOL（生活の質）と生活機能の維持向上を目標とし自立した地域生活が送れるよう支援します。
- 4) 利用者本位のサービス提供をします。
- 5) 利用者・家族・職員が笑顔と元気あふれる施設になる。

○全体の評価講評（特に良いと思う点）

【地域ボランティアの積極的な採用や地域住民に対する自立支援ケアのノウハウを発信するなど、地域の方が元気になる貢献が実践されています】

事業所ではレクリエーションワーカーを置き、地域で行われる文化活動や職場体験、企業の研修や教育機関の教育実習、一芸披露や趣味活動などのボランティアの申込み等の情報を集約して、地域住民のマンパワーの発掘と調整が行われています。また、同エリアの地域包括支援センターが開催する「はつらつ介護予防講座」や「運動機能向上トレーニング教室」に地域の方々とともに利用者や家族も参加し、自立支援ケアのノウハウを伝えています。施設で培われた福祉資源を積極的に発信し、地域の方々が健康的に生活を送れるための社会貢献が実践されています

【身体的機能の維持向上を目指して、利用者の自発性を促しながら機能訓練や運動を取り入れた活動を実践し、在宅生活の自立に貢献しています】

利用者の生活機能向上と健康増進による在宅生活の継続を目指して、目標を明確にしながら生活課題に連動させた機能訓練を実施しています。機能訓練は体力測定や身体評価などにより運動の効果を確認しながら行われ、歩行訓練ではフロア内と施設周辺を距離により10以上のコースを設定し、身体機能や状態に応じ目標を持って訓練を行えるよう支援しています。この他楽しみながら体力維持や意識レベルの維持・向上につなげる「きたざわ体操クラブ」など、レベルに応じた多様な活動を提案することで自発性を引き出し日常生活に活かせるよう支援しています。

【利用者個人の活動の目的を実現するために、クラブ活動や外出支援を実践することで、利用者の楽しみや自己実現につなげるようにしています】

利用者の自主性を尊重し主体的な活動が行われるよう、アンケートで活動への期待を聞き取り、カラオケや麻雀、囲碁、手作業など様々な要望が出てきました。これらはボランティアの協力を得ながら順次実現し、麻雀やオセロ、トランプ、茶話会など少人数での活動に選択して参加されています。またコーラスやマジックなどはイベントで発表したり手作業の品は文化祭に出展するなど、目標を持って活動しています。このようにクラブ活動では発表を目標に、外出活動では歩くことを目標にするなど、目的を明確化しながら自己実現に繋げるよう支援しています。

○全体の評価講評（さらなる改善が望まれる点）

【介護計画にそった支援がニーズに対し適切であったかなど、モニタリングの精度を高めることで、支援の向上につなげていくことが望めます】

通所介護サービス計画に基づいた支援を確実にを行うため、プランの目標に連動した実施チェック表にサービス実施の有無を記録すると共に、詳しい状況はケース記録に記載し、職員間で情報共有を図っています。また計画の見直し、更新の時期にはアセスメントシートを活用してケアの見直しを行い、課題の継続・修正・削除・追加などをチェックし、新たなプランを作成しています。今後プランの継続・修正等の根拠を明確にするなどモニタリングの精度を高め、ニーズに対しプランが適切であったかなど検証することで支援の向上につなげていく事が望めます。

【独自の業務分担マニュアルの改定を現場職員が参画して進めることで、業務の意図の理解と、スキルアップにつながる事が期待されます】

法人内各施設共通のISOによる各規定や業務要領書等に加え、事業所の特性に合わせて独自に作成した業務分担マニュアルによって日々の業務が行われており、通所業務チェックリストを活用し日常業務を自己点検しています。また、上席者と年2回の面接による能力評価から獲得すべき業務能力を明確にし、研修や指導が計画的に実施されることで知識と技術向上に繋げています。職員が一つ一つの業務の意図の理解をさらに深めるためにも、現場職員が参画して業務分担マニュアルの改定作業を行うなど、職員の能力向上につながるさらなる展開が期待されます。

【職員の仕事の遂行に必要なとされる能力向上や職場環境を改善する取り組みが職員にとって有効に機能するように改善することが望めます】

職員が継続的に利用者や組織のために業務を遂行できる環境（離職低減含む）を組織として支援しています。例えば、職員の健康面への支援、就業状況や仕事の問題点の解消に向けた支援をするとともに、職員のスキルアップと仕事の成果を称賛する支援によって、職員の業務負担の通減と遣り甲斐感を向上させるようにしています。今後さらに、職員のスキルとマインドを向上させるためにも、職員の組織活動に対する満足・不満足要因を把握し、改善課題に対する施策を現場へとフィードバックするとともに、職場改善に結びつける仕組みの検討が望めます。

○事業者が特に力を入れている取り組み

【事業部が連携し利用者一人ひとりの在宅生活をトータルに支援する体制が機能しています】

自立生活ケアからターミナルケアや重度化による支援困難ケースまで、様々な状態にある利用者を支援するため、複合施設の特色を生かし、デイサービスをはじめ在宅サービスグループ内で利用者情報を把握し、適切なケアをタイムリーに行なうとともに、困難ケースを中心に事例検討を行い、共有化を図っています。また法人の同一事業部共同で会議を定期的に持って、法人内でも成功事例などを用いての合同事例検討会を行なうなど、利用者一人ひとりの在宅生活の維持・向上に向けてトータルに支援する体制が機能しています。

【在宅生活の継続のために生活機能の維持・向上に向けた機能訓練に力を入れています】

利用者の生活機能向上と健康増進による在宅での生活の継続を目指して、利用者全員に対し「個別機能訓練評価及び計画書」を作成し、プログラムに沿った支援・評価・見直しを行い、生活課題に連動させるため通所介護サービス計画書にも組み入れ実施しています。パワーリハビリ、集団体操、歩行などを行っていますが、特に歩行訓練ではフロア内と施設周辺を距離により10以上のコースを設定し、身体機能や状態により散歩を行い、脚力をつけると共に、外部の空気を感知することで意識レベルの低下予防に繋がり、認知症の方にも有効な支援になっています。

【地域と連携して利用者が楽しむ機会を増やし、自立生活が送れるよう支援しています】

地域密着に重点をおき、地域に開かれた施設を目指しながら、自治会・ボランティア協会・教育機関と連絡を取り合い、ボランティアの受け入れを積極的に行なっています。施設ニーズをボランティアに依頼するだけでなく、ボランティア活動を希望する地域の方が自ら積極的に活動を行なえるように、担当職員を配置して支援体制を充実させています。その結果、地域のボランティア活動の活性化と利用者が楽しむクラブ活動や各種行事などの機会を増やし、自立生活が送れるよう支援しています。

○利用者調査結果

有効回答者数	19人
利用者総数	79人

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	94.0%	5.0%	いはい:0.0% 無回答・非該当:0.0%
2. 食事の献立や食事介助は満足か	84.0%	15.0%	いはい:0.0% 無回答・非該当:0.0%
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	94.0%	5.0%	いはい:0.0% 無回答・非該当:0.0%
4. 利用中の楽しい行事や活動があるか	78.0%	10.0%	10.0% いはい:0.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動（リハビリ）は、家での生活に役立つか	94.0%	5.0%	いはい:0.0% 無回答・非該当:0.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	94.0%	5.0%	いはい:0.0% 無回答・非該当:0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	94.0%	5.0%	いはい:0.0% 無回答・非該当:0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	89.0%	5.0%	5.0% いはい:0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	68.0%	5.0%	26.0% いはい:0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	100.0%		どちらともいえない:0.0% いはい:0.0% 無回答・非該当:0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	100.0%		どちらともいえない:0.0% いはい:0.0% 無回答・非該当:0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	84.0%	10.0%	5.0% いはい:0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	84.0%	15.0%	いはい:0.0% 無回答・非該当:0.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	78.0%	15.0%	5.0% いはい:0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	57.0%	15.0%	26.0% いはい:0.0%